＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	TsuGaru
グループの名称	YJK会【やっぱり地元の工務店が一番会】
直近採択グループ番号	06-0147-0025

（グループ代表者）

代表者名	石郷岡　義長　代表者印
代表者所属先	株式会社石郷岡
代表者所在地	青森県弘前市神田2丁目3-12
代表者電話番号	0172-35-2100

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社石郷岡
事務局担当者名	肥後　孝将　印
事務局郵便番号	036-8061
事務局所在地	青森県弘前市大字神田二丁目3-12
事務局電話番号	0172-35-2100
事務局FAX	0172-35-2135
事務局担当者E-mail	t.higo@ishigoka.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	TsuGaru
２．グループの名称(必須)	YJK会【やっぱり地元の工務店が一番会】
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0147-0025
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	青森県全域
５．結成年(必須)	2013　年
６．グループ代表者名(必須)	石郷岡　義長
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社石郷岡
８．グループ代表者所在地(必須)	青森県弘前市神田2丁目3-12
９．グループ代表者電話番号(必須)	0172-35-2100
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社石郷岡
１１．グループ事務局担当者名(必須)	肥後　孝将
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	036-8061
１３．グループ事務局所在地(必須)	青森県弘前市大字神田二丁目3-12
１４．グループ事務局電話番号(必須)	0172-35-2100
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	0172-35-2135
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	t.higo@ishigoka.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	2	海外事業者については念書の入手が困難な為、グループ7原木供給出荷者による合法木材の証明で代替する
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	7	海外事業者については念書の入手が困難な為、グループ7原木供給出荷者による合法木材の証明で代替する
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	2	
Ⅳ．プレカット	1	
Ⅴ．設計	4	
Ⅵ．施工	20	
Ⅶ．木材を扱わない流通	1	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
Ａ．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	□　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	ヒバ・カラマツ・スギ	青森県	青森県産材証明制度	1	国内

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		8	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	8	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	4	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	4	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	4	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		8	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	8	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	2	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		8	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	8	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	4	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	1	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		8	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	8	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	3	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	3	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		7	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	7	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	4	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	2	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	申請確実で尚且つ、請負契約済みでグループ採択決定、配分通知を待っている施工事業者を優先的に配分していく。 今まで補助金活用実績のない事業者にも優先的に配分していく。

E．平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）								
	採択戸数	5	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	5	戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	2	戸
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	2	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）								
	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	3	戸
	優良建築物型								
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸
	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
海外事業者については念書の入手が困難な為、グループ7原木供給出荷者による合法木材の証明で代替する

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
2	Ⅰ － 3	青森県森林組合連合会		030-0813	青森県青森市松原一丁目16番25号	017-723-2657
2	Ⅰ － 4	青森県木材協同組合		030-0151	青森県青森市高田字川瀬104-1	017-739-8761
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅱ＞

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
海外事業者については念書の入手が困難な為、グループ7原木供給出荷者による合法木材の証明で代替する

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
2	Ⅱ － 3	青森県森林組合連合会		030-0813	青森県青森市松原一丁目16番25号	017-723-2657
5	Ⅱ － 7	二ツ井パネル株式会社		018-4211	秋田県北秋田市川井字横呑沢5-130	0186-78-2132
5	Ⅱ － 10	協同組合秋田県北木材センター		017-0878	秋田県大館市川口字上野101番地の1	0186-42-7651
2	Ⅱ － 11	齋藤木材株式会社		038-0002	青森県青森市沖館三丁目10番地1号	017-781-1148
2	Ⅱ － 12	小館木材株式会社		038-0059	青森県青森市油川字千刈127-20	017-788-8125
2	Ⅱ － 14	有限会社藤田製材所		038-2806	青森県つがる市木造越水	0173-26-2051
2	Ⅱ － 15	有限会社佐藤製材		036-8127	青森県弘前市小栗山字川合21-13	0172-87-2433
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
2	Ⅲ － 16	株式会社石郷岡		036-8061	青森県弘前市大字神田二丁目3-12	0172-35-2100
14	Ⅲ － 17	ナイス株式会社		230-8571	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1	045-521-6161
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
2	Ⅳ － 18	株式会社ウッドハート		036-8061	青森県弘前市大字神田二丁目4-17	0172-36-2323
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －				

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
2	Ｖ － 19	若松設計		036-8026	青森県弘前市大字南横町37-1	0172-32-0688	○	
2	Ｖ － 20	工藤設計一級建築士事務所		037-0045	青森県五所川原市新町19-1	0173-23-4672	○	
2	Ｖ － 21	株式会社リアルウッド		036-0242	青森県平川市猿賀南野２６－２１	0172-88-7058	○	
2	Ｖ － 23	建築設計Miyabi		036-0233	青森県平川市日沼樋田2-1	0172-55-6138	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							20	○	○
2	Ⅵ － 21	70343	株式会社リアルウッド		036-0242	青森県平川市猿賀南野26－21	0172-88-7058	○	
2	Ⅵ － 22	70554	有限会社　大平建設		036-0371	青森県黒石市花園町37－1	0172-53-5433	○	
2	Ⅵ － 24	70496	日野建ホーム株式会社		038-0012	青森県青森市柳川1丁目2－62	017-723-6161	○	
2	Ⅵ － 25	90017	株式会社あさひほうむ		036-8087	青森県弘前市大字早稲田二丁目2番地5	0172-29-3700	○	
2	Ⅵ － 26		株式会社すまくら		036-8274	青森県弘前市南城西2丁目2-4	0172-88-8081	○	
2	Ⅵ － 27	70393	株式会社伊藤光建設		030-0852	青森県青森市大野若宮140－29	017-739-4466	○	
2	Ⅵ － 28	70367	株式会社石豊建設		036-1312	青森県弘前市大字高屋字安田615－3	0172-82-2038	○	
2	Ⅵ － 29	70360	株式会社三浦組		038-3804	青森県南津軽郡藤崎町葛野字岡元18－3	0172-75-2328	○	
2	Ⅵ － 30	70307	イシオカホーム株式会社		036-8082	青森県弘前市大字福村字福富45	0172-28-5366	○	
2	Ⅵ － 31	70503	未来環境開発有限会社		036-0311	青森県黒石市吉乃町88番地	0172-59-1234	○	
2	Ⅵ － 32	70401	株式会社千田工務店		038-2761	青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字後家屋敷20－18	0173-72-7116	○	
2	Ⅵ － 33	70449	桜庭建築		036-8373	青森県弘前市大字藤代一丁目15番地12	0172-34-3390	○	
2	Ⅵ － 34	70400	株式会社水木工務店		036-8061	青森県弘前市神田5丁目4－3	0172-35-7429	○	
2	Ⅵ － 35	70513	有限会社キーポイントホーム		036-8164	青森県弘前市大字泉野3丁目11－11	0172-88-7705	○	
2	Ⅵ － 36	70395	株式会社建匠おだぎり		036-8124	青森県弘前市大字石川字中川原29－2	0172-92-3555	○	
2	Ⅵ － 37	70371	株式会社長内建築事務所		036-8142	青森県弘前市大字松原西3丁目6－18	0172-87-4321	○	
2	Ⅵ － 38	70549	有限会社石田建設		036-8123	青森県弘前市大字小金崎1丁目3－2	0172-92-3025	○	
2	Ⅵ － 39	70480	株式会社相馬建築		036-8125	青森県弘前市大字大沢字下村元115－3	0172-40-0237	○	
2	Ⅵ － 40	83010	有限会社高森ホーム		038-0002	青森県青森市沖館1丁目9－31	017-782-9238	○	
2	Ⅵ － 41	83011	有限会社サンビルド		036-8001	青森県弘前市大字代官町15	0172-33-0611	○	
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
2	Ⅵ － 21	70343	株式会社リアルウッド	6 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	4 戸	㎡	㎡	3以下	4以上	4以上		○	○
2	Ⅵ － 22	70554	有限会社 大平建設	6 戸	6 戸	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	2 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	4以上		○	○
2	Ⅵ － 24	70496	日野建ホーム株式会社	19 戸	15 戸	1 戸	0 戸	4 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	4以上			○
2	Ⅵ － 25	90017	株式会社あさひほうむ	23 戸	20 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○	○	○
2	Ⅵ － 26		株式会社すまくら	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
2	Ⅵ － 27	70393	株式会社伊藤光建設	14 戸	14 戸	1 戸	1 戸	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	4以上	3以下			
2	Ⅵ － 28	70367	株式会社石豊建設	4 戸	4 戸	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下			○
2	Ⅵ － 29	70360	株式会社三浦組	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
2	Ⅵ － 30	70307	イシオカホーム株式会社	2 戸	2 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下			
2	Ⅵ － 31	70503	未来環境開発有限会社	14 戸	14 戸	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下			
2	Ⅵ － 32	70401	株式会社千田工務店	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下			
2	Ⅵ － 33	70449	桜庭建築	1 戸	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下			
2	Ⅵ － 34	70400	株式会社水木工務店	10 戸	10 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
2	Ⅵ － 35	70513	有限会社キーポイントホーム	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
2	Ⅵ － 36	70395	株式会社建匠おだぎり	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
2	Ⅵ － 37	70371	株式会社長内建築事務所	7 戸	6 戸	0 戸	0 戸	0 戸	2 戸	2 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	4以上	4以上		○	○
2	Ⅵ － 38	70549	有限会社石田建設	1 戸	2 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	4以上			○
2	Ⅵ － 39	70480	株式会社相馬建築	6 戸	4 戸	0 戸	0 戸	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	4以上	4以上			○
2	Ⅵ － 40	83010	有限会社高森ホーム	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
2	Ⅵ － 41	83011	有限会社サンビルド	10 戸	8 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
2	Ⅶ － 16	株式会社石郷岡		036-8061	青森県弘前市大字神田二丁目3-12	0172-35-2100
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）TsuGaru	（地域型住宅供給対象地域）青森県全域
2．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称）YJK会【やっぱり地元の工務店が一番会】	（結成年）2013　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0147-0025	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	YJK会「TsuGaru」の特徴として『雪と寒さに強い家』として、断熱等性能4等級からマイナス10%以上削減した性能とする。また、一次エネルギー消費量等級を高度省エネ型住宅の認定低炭素住宅の基準相当である等級5を基準とするため、環境にやさしく省エネルギーな居住水準の向上、経済的な住環境設備機器の採用を推進していく。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	構造材の過半を合法木材を取得した材料を使用する。羽柄材のうち、10%以上を青森県産材認証制度により産地証明のなされた材料を使用する。また、森林の活性化やCO2排出量の抑制、地域循環型社会への貢献等を目的とし、①ペレットストーブ又は薪ストーブの導入。②太陽光発電システムの導入。③ヒートポンプ式冷暖房システムの導入。④高効率給湯器の導入。⑤第一種換気システムのいずれか1つ採用する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	青森県は日本海側の津軽地域は多積雪、太平洋側の三八上北は少積雪が特徴です。当グループ構成員の施工事業者は津軽地域に集中しているため、多積雪に対応する住宅を一般消費者へ供給しなければならない。特に、屋根雪の積もり方は降雪量、風速、気温の条件、屋根形状と勾配により変化する。これらの条件を考慮し、近隣とのトラブル等の少ない屋根形状を設計し提案する。	◎
④ ①～③の背景	青森県の津軽地域は本州最北端に位置し、全域に於いて寒さがとても厳しく、積雪も多い。その為、YJK会「TsuGaru」は、『雪と寒さに強い家』を目指し、断熱性能と一次消費エネルギーの削減率、無落雪屋根や勾配等に配慮した家づくりを推奨していく。また、環境にやさしく省エネルギーな居住水準と経済的な生活向上を目的に一次エネルギー消費量の基準を設定した。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	特になし。	

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：YJK会「TsuGaru」で独自の仕様カタログを作成し、グループ構成員がカタログを活用しグループの仕様用材の寸法規格化を行う。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：YJK会「TsuGaru」で独自の仕様カタログを作成し、グループ構成員がカタログを活用しグループの標準仕様建材の統一化を図る。	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：YJK会「TsuGaru」の仕様カタログを基に、グループの仕様ルールや標準仕様等、グループ構成員が活用できるようにする。また、一般消費者に対しても説明理解できる内容とすることで住宅生産体制の整備を図る。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：YJK会「TsuGaru」で使用する建材や資材は、グループ構成員で検討された仕様書記載の資材をなるべく共同で調達することで、少しでも低価格で工務店に提供できる体制を整備する。	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：グループ構成員で検討された使用記載の資材をなるべく共同で調達することでコスト面、納期短縮を図る。	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：YJK会「TsuGaru」実行委員会を開設し、生産体制の合理化に向けた内容をテーマとした実行委員会の開催を行い検討していく。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある　→	内容：YJK会「TsuGaru」のホームページを開設し、一般消費者へグループの取組実績や仕様ルール、完成見学会開催のお知らせの情報提供を行い、住宅の生産に寄与する。	○
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある　→	内容：YJK会「TsuGaru」実行委員会の中でお客様のニーズとグループの方向性を共にした施工基準書を作成し、グループ内と一般消費者への信頼性向上に向けた取組を行っていく。	○
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある　→	内容：YJK会「TsuGaru」実行委員会のメンバーを中心に施工中の現場を巡回し、仕様ルールや基準に則した住宅か否かの検査を行う。	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある　→	内容：特に県産材の適正単価を見える化し「統一見積書」を作成、グループ構成員の全施工事業者が活用できるようにしていく。また、併せて一般消費者に説明、理解していただくことで互いの信頼性の向上に繋げる。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある　→	内容：住宅引渡し時に、YJK会「TsuGaru」の仕様に適合した住宅であることを証明する「TsuGaru適正住宅証明書」を発行する。また、お施主様の疑問や不安を解消するために事務局が随時施工事業者、または一般消費者からの相談を受け付ける。	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある　→	内容：現場で働く職人の安全や事務職の方が働きやすい環境を考え、毎週まではいかなくても週二日の休みを事務局から事業者へ働きかけていく。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある　→	内容：青森県優良住宅協会にて検討されている、大工育成塾開校に参加し若手の大工技能士育成に力を入れていく。	◎
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある　→	内容：青森県優良住宅協会で開校する大工育成塾に、事業者の社長を対象に社会保険の重要性を促し、社会保険加入を進めていく。	◎
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある　→	内容：大工育成塾の教育指導カリキュラムに沿って、現場での危険予知や普段の健康面を大工育成と共に取り組んでいく。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		特になし。			

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）TsuGaru	（地域型住宅供給対象地域）青森県全域
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）YJK会【やっぱり地元の工務店が一番会】	（結成年）2013　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0147-0025	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：第三者機関が運営する情報サービス機関に各事業者が1年、3年、5年、10年、15年、20年、25年、30年蓄積を行い、事務局より実施点検を促す。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：ナイス株式会社の運営する住宅履歴情報「いえかるて」の有効活用についてアナウンスし一括管理することの重要性を促していく。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：ナイス株式会社の運営する住宅履歴情報「いえかるて」に登録することにより、事務局への通知が届く為、これにより質問事項等の対応を併せて行う。	○
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：点検の共通ルールについては「JBN住まいの管理手帳」を使用して説明を行い共通ルールとする。	○
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：補修の共通ルールについては「JBN住まいの管理手帳」を使用して説明を行い共通ルールとする。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：ナイス株式会社の運営する住宅履歴情報「いえかるて」に登録することで事務局へ点検時期や点検修了、設備機器等のリコール情報が届くことで確認する。	◎
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：住宅履歴情報サービスの使用方法や活用方法について、グループ内にて講習会を開催し利用者の理解を深める。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：年一回開催しているリフォームイベントにてDIY体験会を開催してDIYに関心を持たせる。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	■ ない	□ ある →	内容：特になし。	
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：グループ実行員会において、お施主様からのクレームや相談、維持管理内容について検討して、問題解決していく。	◎
	⑤	その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある →	内容：特になし。	
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：事業者が倒産または廃業で工事途中に、工事の続行が不可能となった場合や完成引き渡し後のアフターメンテナスの継続が不可能と判断した場合、実行委員会においてグループ内の事業者を斡旋し、対象住宅のバックアップを全面的に支援する。	◎
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：建設業界に特化した弁護士等を招き、住宅の瑕疵内容等についての事例を基に勉強会を開催して瑕疵の重要性を認識させる	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			特になし。			

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：未経験または、実績が少ない施工事業者を対象に、設計業務や施工技術に関する技術力向上の為の研修会を開催する。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：研修会を通して、現時点で施工または、竣工している住宅の省エネルギー基準（外皮計算、一次エネルギ消費量）の算定をして品質管理する。	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：グループ実行委員を中心に、研修会に参加された施工事業者の技術力を現場視察する。	◎
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：長期優良住宅や認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅の普及、周知する為に研修会、現場での施工技術研修会等を実施する。	◎
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：将来に渡る断熱性能、高効率設備の重要性を認識させる研修会を開催し、補助対象住宅の施工実績のない施工事業者の数を現状より減らす。	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：青森県優良住宅協会と共同で地域学生の「インターシップ」の生徒（将来産業に携わる学生）受入れに積極的に取り組み、施工現場等における就業体験を通して専門分野の知識や技術を総合的に理解していただくとともに、これからの住宅産業の重要性を根底から築き上げていく。	◎
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　5		今年度の参加目標人数　1	◎
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　5		今年度の参加目標人数　1	◎
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：事務局を通じて講習会の開催日時、開催場所をアナウンスして行くことで、積極的に講習会参加を促す。また、講習会参加者の一元管理も行っていく。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：新築のみならず、長期優良住宅化リフォーム推進事業にも積極的に取り組める様、研修会の実施等で、技術力向上を図る。	○
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：施工事業者の後継者、大工技能の育成を木造建築を通じて技術力支援をし次世代へ継承していく取り組みを推進していく。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			特になし。			

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）TsuGaru	（地域型住宅供給対象地域）青森県全域
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）YJK会【やっぱり地元の工務店が一番会】	（結成年）2013 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0147-0025	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	構造材の過半を地域材（国内外の合法木材認定を取得した）を使用し、羽柄材のうち10%以上を青森県産材認証制度により産地証明のなされた材を使用する。（母屋・束・大引は羽柄材加算される）	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材 土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材 枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材 壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	海外の事業者については、必要とされる念書の入手が不可能であるため登録を行っていない。製材・集成材・合板製造のグループに所属する出荷者による合法性の証明によって代替する。海外からの製材品を調達する場合等、一部の原木供給、製材事業者を特定できない場合もある。その海外事業者については、必要とされる本社の念書の入手が不可能であるため、登録を行っていないことから、海外から調達される製材品については、建材流通のグループに所属する出荷者による合法性の証明によって代替する。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある → 内容：グループ事務局において、原木・製材・集成材・合板製造構成員から地域材在庫量、県産材在庫量の情報を得て施工事業者に情報発信する。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある → 内容：グループ事務局において、原木・製材・集成材・合板製造構成員から現在価格、価格変動の情報を得て施工事業者に情報発信する。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：建設ラッシュ時の仕事が込み合う時期に地域材の安定供給ができるよう、グループ内で常に調査し、事務局より施工事業者へ需給状況をアナウンスをする。	◎
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：今年度の使用予定枚数（1畳換算）　30　枚	○
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：今年度の使用予定枚数：　0　枚	○
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算）　20　枚	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算）　20　枚	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：日本三大美林で蓄積量も豊富で、安定して消費者に供給できる「青森ヒバ」を出来る限り活用する。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：日本三大美林で県内外でブランド力が根付いて来ている、「青森ヒバ」を内外装の仕上げ材として出来る限り使用する。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：自然環境に優しく、高耐久な住宅を目指し地域の古民家や蔵の技法を取り入れることで伝統的なデザインを継承する。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：雪国特有の屋根からの落雪や積雪による家屋の倒壊で、近隣とのトラブルが絶えない屋根形状や隣地境界、雪対策に配慮した安全な住宅の設計または建設に取り組む。	◎
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：身近な自然環境や生態系を楽しみ、良好な関係を保つよう、人と自然の接触が多くなるような住宅づくりを目指す。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：和の住まいとして、木、紙、土等の自然素材をうまく利用することで、伝統的な日本家屋や日本の文化を今一度甦らせる取組みをグループ構成員全体で推進していく。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		青森県森林組合との連携を図り、森林保全や清掃活動、植林活動等に積極的に参加協力を行う。	○

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	東日本大震災の復興支援として、地域材の活用（岩手県産のカラマツ、スギの構造用合板）を積極的に活用することで被災地区の復興支援に寄与する。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	熊本地震の復興支援として、熊本県産のスギ、ヒノキ、ヒノキ羽目板などを出来る限り活用することで復興支援に寄与する。	○

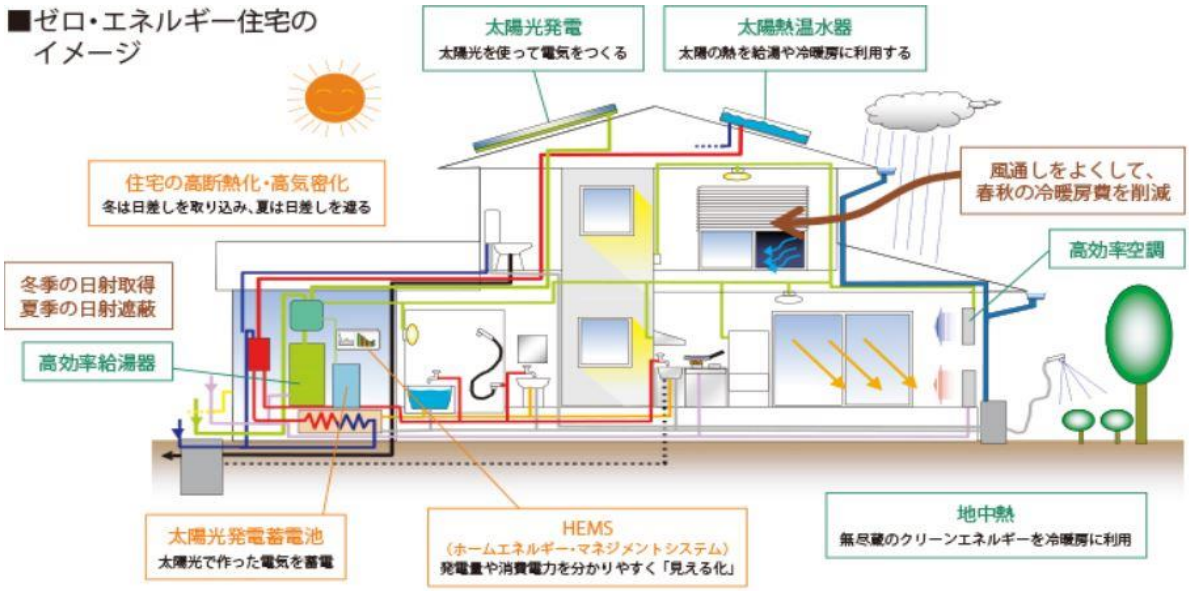
※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）TsuGaru	（地域型住宅供給対象地域）青森県全域
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）YJK会【やっぱり地元の工務店が一番会】	（結成年）2013 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0147-0025	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

高断熱住宅、高効率設備の導入により、各地域の基準UA値・一次エネルギー消費量を15%～20%下げ
光熱費のランニングコストの低い住宅、二酸化炭素（CO2）の排出を削減する住宅造りを目指します。
また、ゼロ・エネルギー住宅については未経験者に対して、ゼロ・エネルギー住宅に取り組む為の講習会などを実施し
ゼロ・エネルギー住宅の普及に努め、省エネルギー・創エネルギー出来る住宅を、2020年までにはゼロ・エネルギー住宅受託率50%
2030年には100%を目標にします。



※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。